

VII 科学館

1 沿革

当館の前身は、昭和30年全国に先駆けて岐阜公園内に建設された児童科学館であり、市制施行90周年と国際児童年の記念事業で、移転、拡充し、名称を少年科学センターと改称して昭和55年5月1日に開館しました。その後、昭和63年の岐阜市制100年記念事業の一つとしてプラネタリウム建設及び展示室の増築を行い、同年11月3日に岐阜市科学館として開館しました。また、平成4年3月に、ハイビジョンシステムを設置し、平成9年3月に2階建展示室を増築し、平成10年3月、ギフチョウをテーマとする展示室「ギフチョウランド」を設置しました。

その後、老朽化した展示装置の大幅更新とサイエンスショーを実施するスーパー理科室設置を二本柱としたサイエンスミュージアム整備事業を実施し、平成28年5月にリニューアルオープンしました。

2 科学館の概要

(1) 施設

所在地	岐阜市本荘3456-41
構造規模	鉄筋コンクリート造2階建
敷地面積	8,486.58㎡
建築面積	2,389.33㎡
建築延面積	4,559.32㎡

部門別	展示サービス	プラネタリウム	天文台	教育普及	事務管理	研究	保管	共通
面積(㎡)	1,860.84	1,182.28	59.29	319.08	350.44	124.19	54.76	608.44
構成比(%)	40.8	25.9	1.3	7.0	7.7	2.7	1.2	13.4

(2) 展示品

「体で実感、心が感動、科学館」をテーマに、自然、現象、技術、地球、宇宙の5つの展示室に、岐阜の自然や壮大な宇宙が投影された大型スクリーン、科学の基礎となる原理・原則が学べる装置、先進技術の応用等、体験型の展示を88点設置しています。また、特別展や児童生徒の科学くふう展示等も行っています。

展示構成	点数
1 自然 ～ゆたかさ～	13
2 現象 ～おどろき～	22
3 技術 ～よろこび～	12
4 地球 ～つながり～	8
5 宇宙 ～ひろがり～	19
スーパー理科室	3
ホール他	11



△サイエンスショー

(3) 観覧料

区 分		プラネタリウム・展示室	展示室のみ
個人	小人（3歳から中学生まで）	2 0 0 円	1 0 0 円
	大人	6 1 0 円	3 0 0 円
団体	小人（3歳から中学生まで）	1 2 0 円	6 0 円
	大人	4 9 0 円	2 4 0 円

※次の方は無料

- ・市内の70歳以上の方
- ・身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳の交付を受けている方及びその介護の方1人
- ・市内中学生以下の方（共催特別展を除く）
- ・家庭の日に入館する中学生以下の方及び同伴する家族（高校生以上）の方（共催特別展を除く）

(4) プラネタリウム投映

▼季節に関係ない団体向学習投映実績（平成29年度）

対 象	投映作品
幼児・小学校低学年児童	ボラリス 忍たま乱太郎
小学校4年生児童	星空を見上げよう
小学校中学年児童	スーホの白い馬
小学校中学年児童	もしも宇宙へ行ったなら
小学校6年生児童	月と太陽
中学校生徒	金星は不思議な☆ホシ

▼季節ごとの一般投映実績（平成29年度）

月 日	投映作品
平成29年4月1日(土)～平成29年4月30日(日)	妖怪ウォッチ プラネタリウムは星と妖怪がいっぱい！
平成29年4月1日(土)～平成29年5月28日(日)	オーロラの調べ～神秘の光を探る～
平成29年4月1日(土)～平成29年5月28日(日)	山崎直子宇宙飛行士のスペース アカデミー
平成29年6月3日(土)～平成30年3月31日(土)	アースシンフォニー
平成29年6月3日(土)～平成30年3月31日(土)	ドラえもん 宇宙ふしぎ大探検3 ～地球のふしぎ～
平成29年9月9日(土)～平成29年11月26日(日)	GRAVITATION ～魔法使いの少年とロボット 不思議な一夜～
平成29年12月2日(土)～平成30年2月25日(日)	ノーマン・ザ・スノーマン
平成30年3月3日(土)～平成30年3月31日(土)	WE ARE STARS

3 事業

▽科学講座

- (1) 親子科学教室（全6回、対象：小学1～4年生、定員：午前・午後各30組）
- (2) パソコン教室（全8回、対象：小学4年生～中学校3年生、午前・午後各10又は15組）
- (3) 少年少女発明クラブ（年9回、対象：小学5～中学1年生、定員：各クラス35人）
- (4) 岐阜科学塾（小学生クラス対象：5・6年生、中学生クラス対象：1年生～3年生）
- (5) サッカーロボット製作教室（対象：小学5年生～中学生、定員：32人）
- (6) サイエンス工房（定員：各講座25人、親子は25組）
- (7) 大人のためのサイエンス工房（対象：成人、定員：各講座25人）
- (8) 家庭科学講座（対象：成人、定員：40人）

▽サイエンスショー

毎月テーマを定め、来館者を対象に実験等を行い、科学への関心を高めます。

▽ぎふサイエンスフェスティバル

広く市民の科学に関する興味関心を高め、レベルアップを図るとともに理科好きな児童生徒に更なる科学体験を提供できるよう、講演会および科学実験工作等のブース出展などのサイエンスフェスティバルを開催し、科学教育の振興を図っています。

(1) 科学実験・工作・展示

市内高校や大学の協力をもとに理科実験工作ブースを設けるとともに、市内高校の研究発表成果の展示を行います。

(2) 講演会

平成29年度は、名城大学終身教授の飯島澄男氏を招き、講演を実施しました。



△サイエンスフェスティバル講演会

▽天文講演会

外部の講師を招き、プラネタリウムを活用して、天文に関するテーマで講演会を実施しています。

▽天体観望会

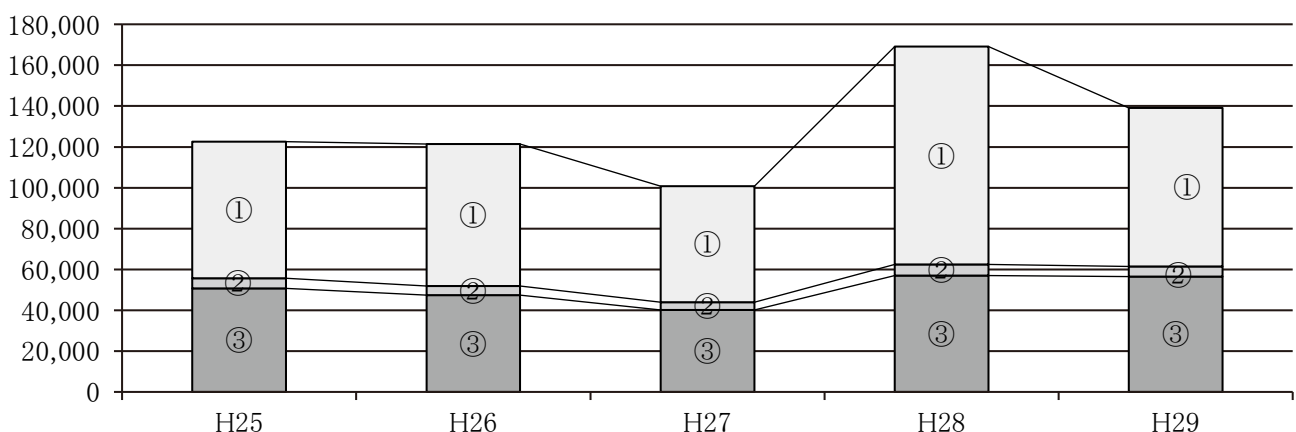
- (1) 星を見る会（毎月第2土曜日開催・科学館屋上天文台他）
- (2) 昼間の星を見る会（土曜日、日曜日、祝日開催・科学館屋上天文台）
- (3) ぎふスターウォッチング（駅前天体観望会）（毎月第4土曜日開催・JR岐阜駅前）
- (4) みんなの森の天体観望会（特別スターウォッチング）（5月20日、10月7日、1月20日開催・メディアコスモス）

▼科学館観覧者数の推移（平成29年度）

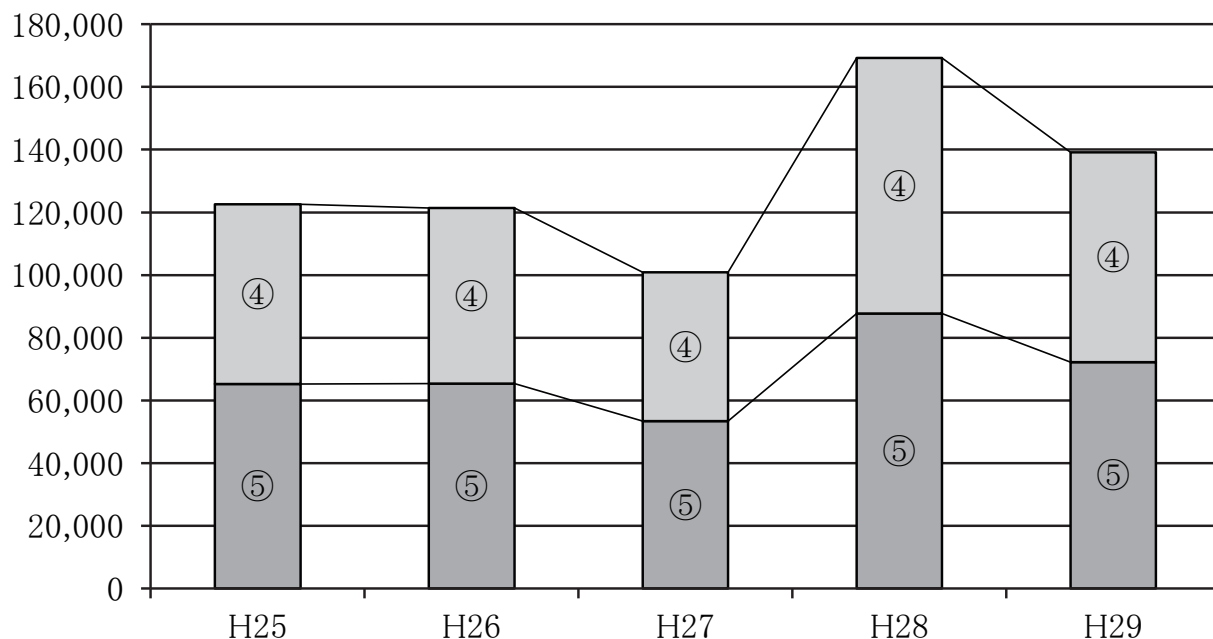
（単位：人）

	H25	H26	H27	H28	H29
① 有料(個人)	66,775	69,541	56,902	106,731	77,685
② 有料(団体)	4,998	4,426	3,713	5,335	4,880
有料計	71,773	73,967	60,615	112,066	82,565
③ 無料	50,778	47,481	40,252	57,116	56,606
観覧者計	122,551	121,448	100,867	169,182	139,171
④ (上記入場者のうち)一般	57,336	56,068	47,444	81,385	66,915
⑤ (")中学生以下	65,215	65,380	53,423	87,797	72,256

1 区分別観覧者数の推移



2 利用層別観覧者数の推移



▼科学館講座等延参加者数の推移

(単位：人)

		平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
科学館講座等 (申込制)	科学教室	1,555	1,328	1,298	1,339	1,306
	夏期サイエンス工房	205	207	183	186	176
	サイエンス工房	1,049	858	875	733	724
	少年少女発明クラブ	1,231	1,373	1,067	888	982
	ロボカップジュニア岐阜	72	96	96	96	93
	ロボカップジュニア岐阜大会	24	32	32	32	31
	岐阜科学塾	522	603	756	629	522
	大人のためのサイエンス工房※1	38	47	43	21	34
	家庭科学講座※1	194	225	119	144	201
	サイエンスショー※2	—	—	—	31,827	29,205
	夏休み科学相談	100	85	76	73	67
	ぎふサイエンスフェスティバル※2	3,500	3,000	3,600	3,400	3,450
	星を見る会※2	836	658	476	739	822
	昼間の星を見る会※2	6,191	4,310	3,783	8,845	7,466
	ぎふスターウォッチング※2	1,963	1,581	1,568	1,512	1,763
	みんなの森の天体観望会※2	—	—	500	739	964

◎主に子どもを対象に事業を行っています。ただし、※1は成人向け、※2は一般に開放して実施しています。